

情 報 公 開 文 書

研究の名称	3種類の抗アミノアシル tRNA 合成酵素抗体測定検査方法の比較検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者	富山大学附属病院 第一内科 篠田晃一郎
研究の概要	<p>【研究対象者】2013年3月1日から2015年5月30日までに当院リウマチ膠原病内科を受診し、主治医が抗ARS抗体症候群を疑い、「MESACUP anti-ARSテスト」および「EUROLINE test kit (myositis profile 3)」「RNA免疫沈降法」検査を行い、いずれかで抗ARS抗体検査陽性が確認された44症例を解析の対象にする。</p> <p>【研究の目的・意義】抗ARS抗体検査のゴールドスタンダードと認知されている「RNA免疫沈降法」検査と「MESACUP anti-ARSテスト」および「EUROLINE test kit (myositis profile 3)」の2検査の一致率を検討し、各検査の特徴を解析する事を目的とする。</p> <p>【研究の方法】統計解析ソフトJMP14を用い各検査の一致率を統計学的に検討する。結果が不一致であった項目について抗体価や患者背景を検討する。</p> <p>【研究期間】臨床研究承認日から2022年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】日本リウマチ学会における演題発表。英語論文での投稿。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	研究に際して新たな試料の採取は行わない。使用する患者情報は日常診療の基づく電子カルテ情報から年齢、性別、病名、臨床像等を抽出する。 他機関への試料、情報の提供は無い
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 第一内科 篠田晃一郎
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 第一内科 篠田晃一郎
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7287 FAX 076-434-5025 E-mail koichiro@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院第一内科 篠田晃一郎</p>